



写真:地上で餌を探すイカル (撮影:平成29年3月15日)

「イカル」

黄色い大きなくちばしがチャームポイント

木の中を歩いていたら樹上か
 になにか壊れるような音が何度も聞
 こえました。その都度見上げてみ
 てもその正体がなんなのかわかり
 ません。少し離れた所で身を隠し、
 音の正体を探ってみると、一羽の
 鳥が地上へ降り立ちました。と
 思ったら、次から次へと地上に降
 り立ちます。なんと数十羽も樹上
 でジッと姿を潜めていたようです。
 イカルは、一年中見られます
 が、冬になると北から移動してき
 た個体も増え、九州で見られる数
 は多くなります。時には100羽
 以上の群れをつくり、地表で餌を
 ついばむ姿が見られます。黄色い
 大きなくちばしは力強く、「バキ
 バキ」と音をたてながら硬い木の
 実も割ってしまいます。宮崎県内
 ではムクノキの実を食べる姿から
 「ムクグイ」「モックイ」などのあだ
 名もつけられているようです。
 冬の森、静寂の中で耳をすませ
 ば、想像以上に多くの生きものた
 ちの活動を感じられるかもしれま
 せん。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

イカル
Eophona personata

スズメ目 アトリ科